

作物統計調査
令和6年産水稻の収穫量（福島）

— 10 a 当たり収量は569kg —

- 1 令和6年産水稻の作付面積（子実用）は6万2,700ha（前年産に比べ4,300ha増加）となった。
うち主食用作付面積は5万6,500ha（同3,400ha増加）となった。
- 2 水稻の10 a 当たり収量は569kgとなった。
これは、全もみ数が、田植え期以降おおむね天候に恵まれ平年に比べやや多くなり、登熟（もみの肥大、充実）が、倒伏の影響によりやや不良となったためである。
- 3 以上の結果、収穫量（子実用）は35万6,800 t（前年産に比べ2万9,200 t 増加）となった。このうち、主食用の収穫量は32万1,500 t（同2万3,600 t 増加）となった。
- 4 農家等が使用しているふるい目幅ベースの作況指数は102となった。

図1 作柄表示地帯別10 a 当たり収量
（1.70mmのふるい目幅ベース）

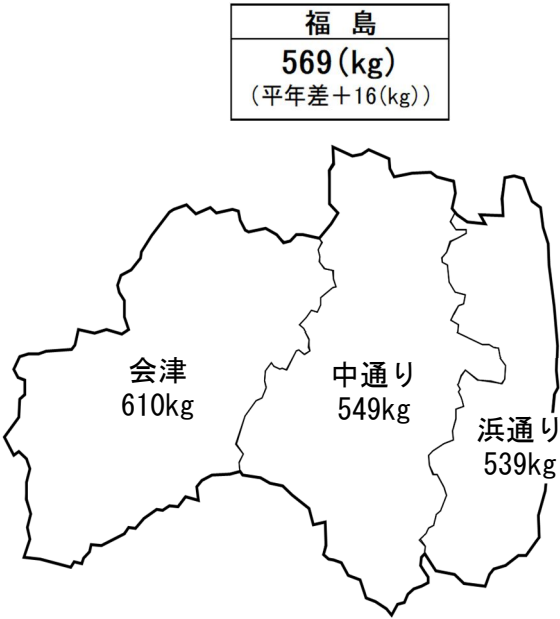


表 令和6年産水稻の作付面積及び収穫量

区 分		作付面積（子実用）			10 a 当たり収量			収穫量（子実用）			主 食 用 作付面積	収穫量 （主食用）	作況指数
		実数	前年産との比較		実数	平年 との比較	前年産 との比較	実数	前年産との比較				
			対差	対比					対差	対比			
		①			②			③＝①×②			④	⑤＝④×②	⑥
		ha	ha	%	kg	kg	kg	t	t	%	ha	t	
福	島	62,700	4,300	107	569	16	8	356,800	29,200	109	56,500	321,500	102
中	通 り	33,600	2,200	107	549	16	8	184,300	14,400	108	…	…	103
浜	通 り	7,690	920	114	539	19	12	41,400	5,700	116	…	…	104
会	津	21,500	1,200	106	610	15	8	131,100	8,900	107	…	…	102

注：1 作付面積（子実用）とは、青刈り面積を含めた水稻全体の作付面積から、青刈り面積（飼料用米・WC S用稲等を含む。）を除いた面積である。

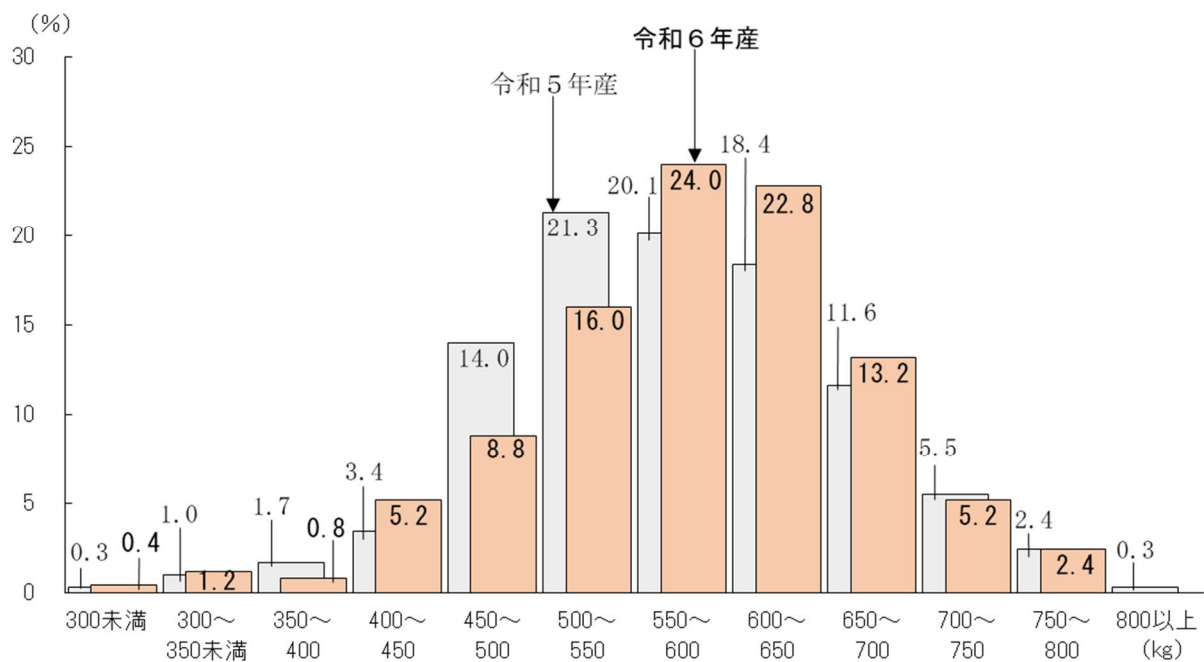
2 10 a 当たり収量、収穫量（子実用）及び収穫量（主食用）は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である。

3 主食用作付面積とは、青刈り面積を含めた水稻全体の作付面積から、新規需要米（飼料用米を含む。）、備蓄米、加工用米等の作付面積を除いた面積である。

4 作柄表示地帯別の主食用作付面積及び収穫量（主食用）は、飼料用米、備蓄米、加工用米等の作付面積を把握していないことから「…」で示した。

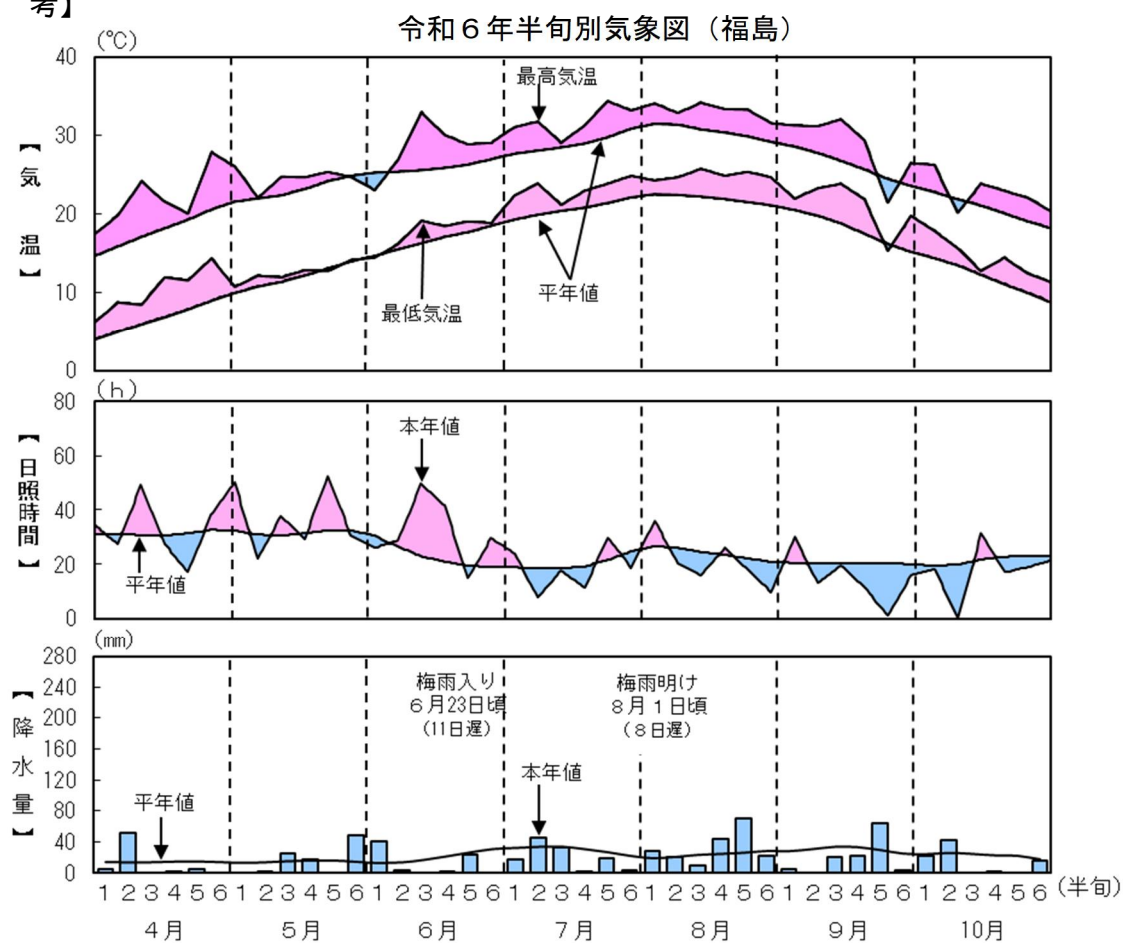
5 作況指数は、10 a 当たり平年収量に対する10 a 当たり収量の比率であり、過去5か年（平成30年産～令和4年産）に農家等が使用したふるい目幅の分布において、最も多い使用割合の目幅（福島県は1.85mm）で選別された玄米を基に算出した数値である。

図2 令和6年産水稻作況標本筆の10a当たり玄米重分布状況（福島）



注：令和6年産の800kg以上の作況標本筆はなかった。

【参 考】



資料：気象庁ホームページ

注：（ ）内の日数の遅速は、対平年差である。

お問合せ先

東北農政局 福島県拠点 統計担当

電 話：024-534-1903（直通） 内線 331